

2023 年度文化経済学会 〈日本〉 研究大会（石川県小松市開催） エクスカーショ

① 小松九谷と石文化めぐり（バスツアー）

7/7（金） 14:00 - 17:30

小松駅集合・解散

参加費：入館料等実費（合計 1,800 円を予定）

定員：25 名（先着順）

行程：小松駅－セラボ九谷－五十吉深香陶窯
－ 東酒造 － 小松駅

* 小松市協力事業



セラボ九谷（九谷セラミック・ラボラトリー）
九谷焼に欠かせない磁器土を製造する工場、
ギャラリー、体験工房などを備えた複合型の
九谷焼文化施設。隈研吾設計、2019 年開館。

小松は豊富な石の資源を活かし栄えてきたまちです。その一つが九谷焼。1811 年、花坂町で良質な陶石が発見されて以来、小松には多くの窯が築かれ、高度な技術をもつ名工が誕生し多彩な作品を生み出してきました。また、日華石や滝ヶ原石など良質な凝灰岩石が採石され、建築部材など様々な用途に利用されてきたことも、小松の石文化を形成しています。このツアーでは、製土工場、ギャラリー、体験工房を備えるセラボ九谷、九谷焼作家の窯元、また、小松で産出する日華石を使った酒蔵を持つ酒造をめぐります。



五十吉深香陶窯
素地製作から絵付けまで全ての工程を行う窯元。
現在三代目浅蔵五十吉、その長女夫妻が新たな
表現で作家活動を行う。ギャラリーも併設。

② 北陸の文化観光交流エクスカーショ

7/7（金） 12:45 - 17:40

金沢駅集合、小松駅解散

行程：金沢駅－国立工芸館－鈴木大拙館

参加費：5,000 円

金沢 21 世紀美術館－石川県西田幾多郎記念哲学館－

定員：40 名（先着順）

（金沢駅経由）－小松駅

金沢の兼六園周辺は、石川県立美術館、金沢 21 世紀美術館、鈴木大拙館、国立工芸館などの文化施設が集積しています。北へ 20 キロのかほく市には西田幾多郎記念哲学館があります。これらの施設は、建築の素晴らしさにおいても注目を集めています。文化、哲学、建築の魅力に触れる北陸の旅をお楽しみください。

* 北陸つどいフォーラム企画協力で実現した、金沢発小松着のコースです。北陸の文化や観光の従事者も参加し、途中交流会も予定しています。詳細は別フライヤーをご参照ください。申込先が異なりますのでご注意ください。



国立工芸館
木造の旧陸軍施設を移築活用した、近現代の工芸・デザインを専門とする美術館。
2020 年 10 月移転開館。

3 小松市立錦窯展示館見学

7/7（金） 16:30 - 17:30

現地集合（小松駅から徒歩7分）

参加費：300 円（入館料）

定員：20 名（先着順）



小松市立錦窯展示館



錦窯

小松の古き街並みが残る大文字町に、昭和初期の木造建築を改修し 1999 年に開館した展示施設。人間国宝三代徳田八十吉の生家であり、初代から三代までが九谷上絵付にいそしんだ陶房跡です。

館内にはかつて上絵付の焼成に用いられていた 2 基の錦窯を保存展示している他、上絵付の道具や、九谷焼の名品の数々を展示しています。学芸員の解説つきでお楽しみください。

4 料亭小六庵での食事会

7/7（金） 18:00 - 20:00

現地集合（小松駅から徒歩7分）

食事代：8,000 円（飲み物代別）

定員：5 ～ 30 名程度

錦窯展示館の前にある、創業 170 年の老舗料亭小六庵でのお食事です。九谷焼の器を使い、旬の素材を取り入れた料亭料理をお楽しみください。

単独でもご参加いただけますが、③の錦窯展示館見学とあわせてご参加いただくのがおすすめです。

①②のバスツアー後にも参加いただける時間帯です。

5 こまつ町家めぐり

（まち歩き）

7/9（日） 16:30 - 17:30

劇場うらら集合（小松駅から徒歩1分）

無料

定員：20 名（先着順）

行程：うらら－龍助町松雲堂－
本村邸－とら屋陶器店－小松駅

小松市の中心市街地には、伝統的な建築様式の「こまつ町家」が残り、町人文化が栄えた時代の面影を残しています。建築の特徴、保存活動の経緯、活用の現状等を、小松観光ボランティアガイドの会「ようこそ」が解説します。



本村邸町家 喜楽庵

お申し込み

7/7 実施



締切：6/28

7/9 実施



QR コードからフォームにアクセスし必要事項を入力してください。

7/7 実施



締切：6/25

申込先：金城交通株式会社 メール：office@u-sp.jp
メールにて、件名を「文化観光エクスカージョン申込」とし、本文に①氏名、②メールアドレス、③携帯番号、④ご所属、⑤年齢、⑥文化経済学会〈日本〉の会員である旨をご記入のうえ送信してください。